



2018年3月期 決算説明会資料

2018年6月6日

証券コード：4022

目 次

- 1. 事業概要**
- 2. 2018年3月期実績及び2019年3月期見通し**
- 3. 新中期経営計画**

1. 事業概要

事業概要

会社概要

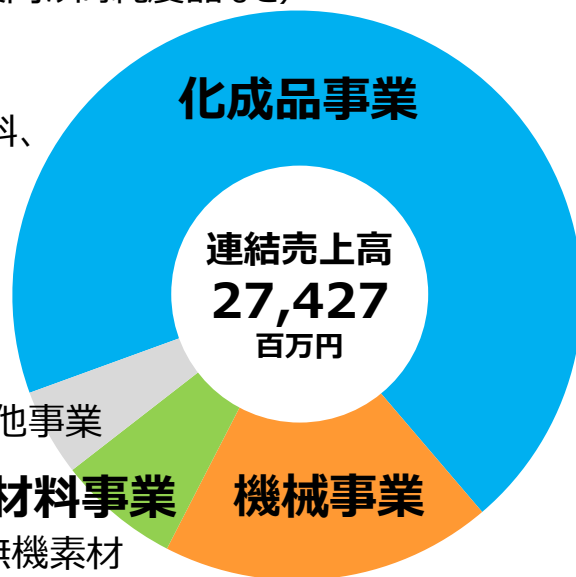
商号	ラサ工業株式会社
本社	東京都中央区京橋一丁目1番1号
創業	1913（大正2）年5月1日
設立	1918（大正7）年6月26日
従業員数	557名（連結） <2018年3月31日現在>

■ リン系製品

リン酸（一般品、電子工業向け高純度品など）
リン酸塩など

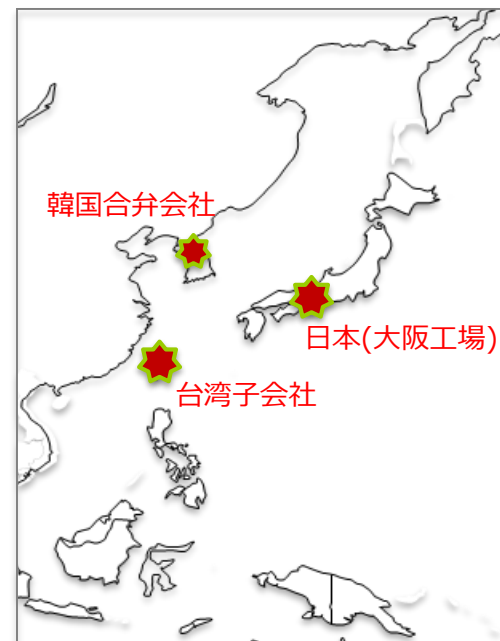
■ 凝集剤（水処理用など）

■ その他（コンデンサー向け原料、
消臭剤など）



- 化合物半導体向け高純度無機素材（ガリウム、インジウム、高純度赤リン、高純度酸化ホウ素）
- 放射性ヨウ素吸着剤

- 建設機械（破碎機、選別機、粉体機器）
- 土木機械（掘進機（上下水道向け））



<半導体向け高純度リン酸の製造体制>

2. 2018年3月期実績及び2019年3月期見通し

2018年3月期 決算概要

- 化成品を中心に、年間を通じて好調裡に推移、大幅な増収増益。
- 営業利益、経常利益において、11期ぶり最高益。

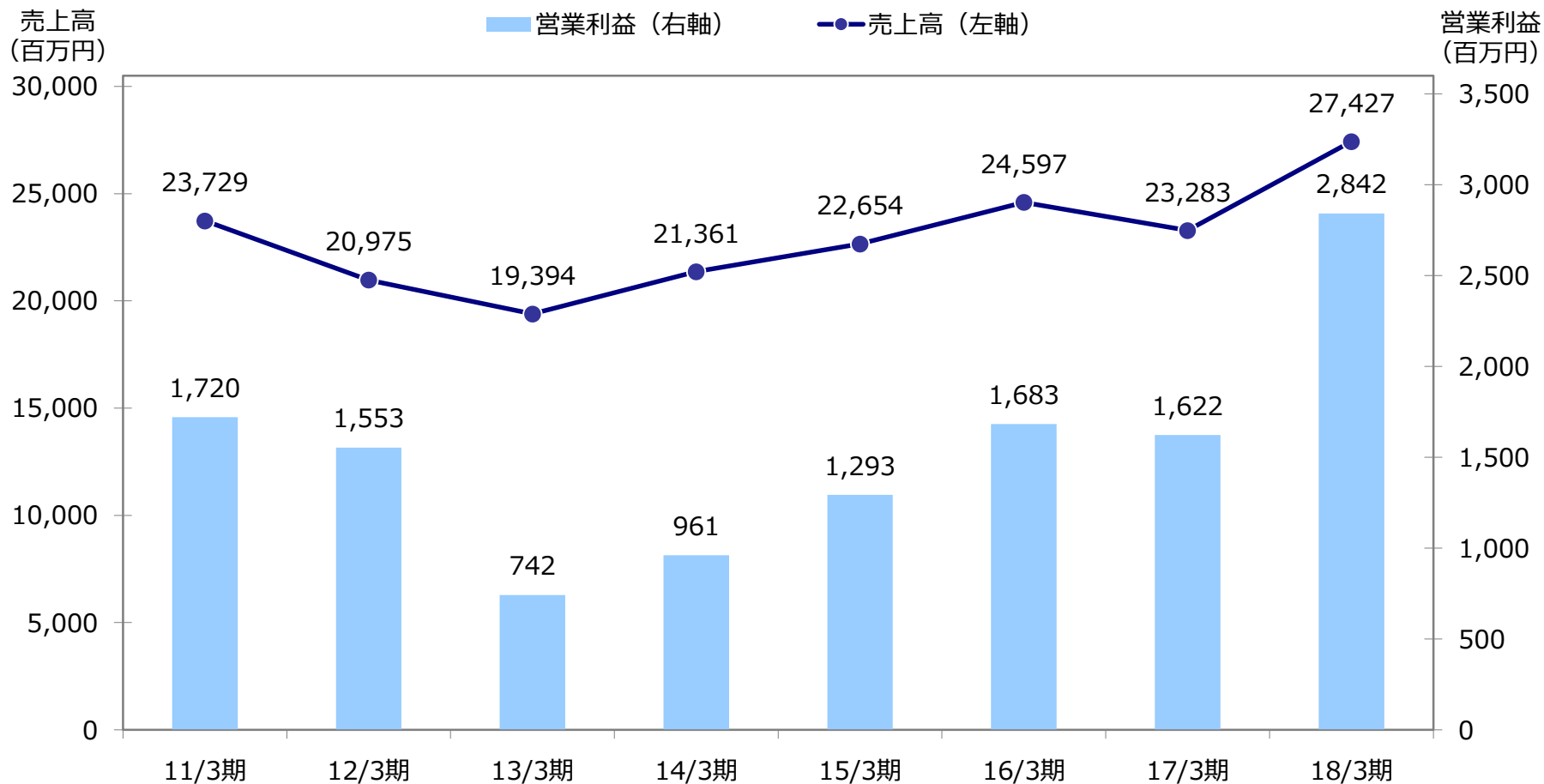
(単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期	増減	前年同期比	期初計画	増減
売上高	23,283	27,427	4,144	17.8%	26,000	1,427
営業利益	1,622	2,842	1,220	75.2%	1,700	1,142
経常利益	1,342	2,718	1,376	102.5%	1,400	1,318
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,726	2,251	525	30.4%	1,000	1,251
1株配当金	2.00円	※ 40.00円	-	-	20.00円	20.00円

※ 2017/10/1に10株を1株に併合

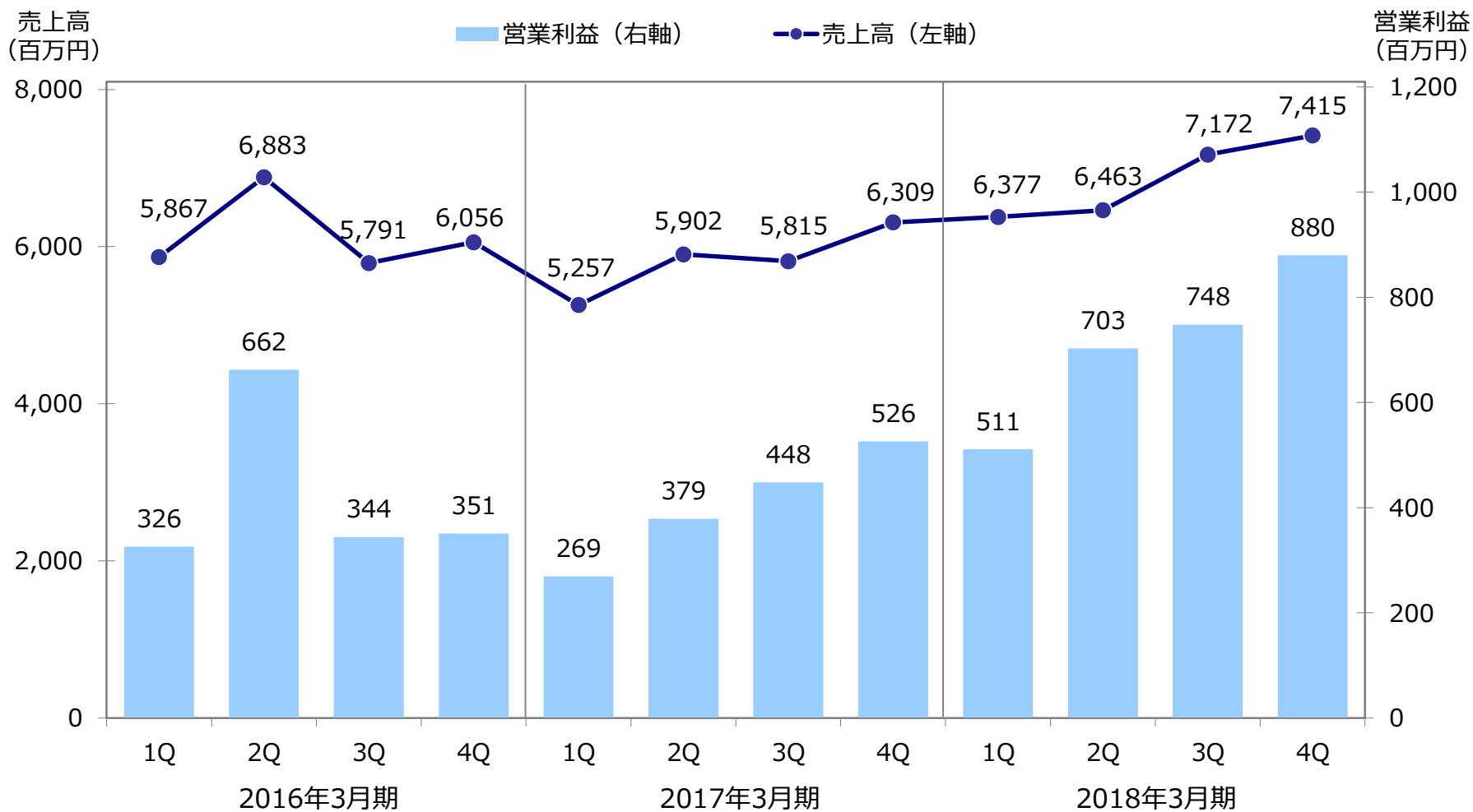
年度業績の推移

売上高と営業利益の推移



四半期業績の推移

四半期売上高と営業利益の推移



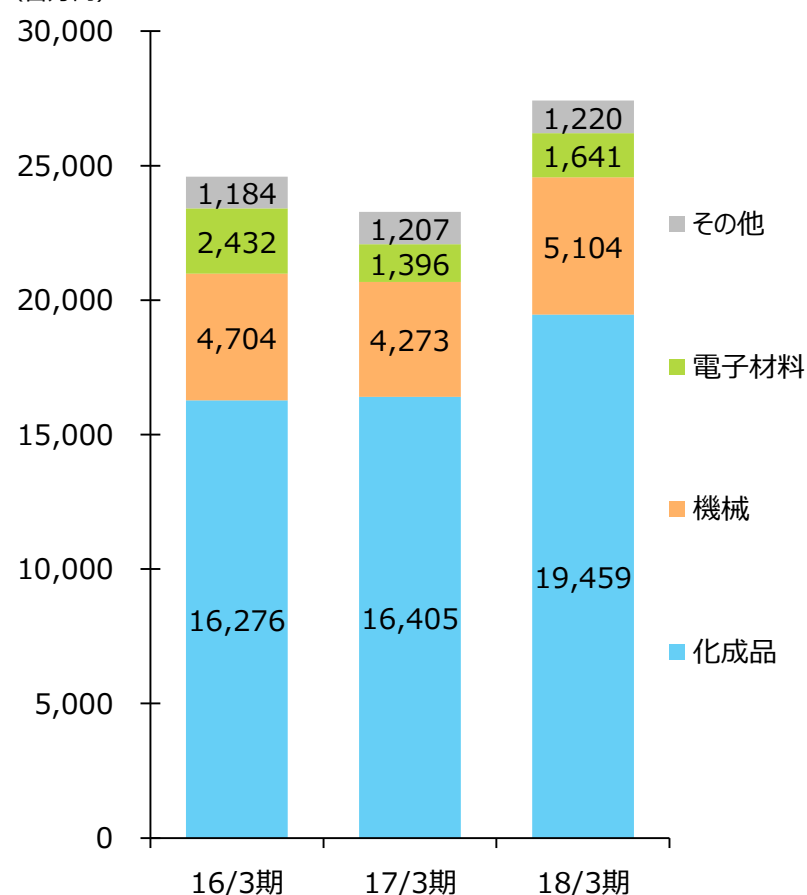
2018年3月期 セグメント別概要（売上高）

売上高の推移

（単位：百万円）

	2017/3期	2018/3期	増減	前年 同期比
化成品	16,405	19,459	3,054	18.6%
機械	4,273	5,104	831	19.4%
電子材料	1,396	1,641	245	17.5%
その他	1,207	1,220	13	1.1%
合計	23,283	27,427	4,144	17.8%

（百万円）

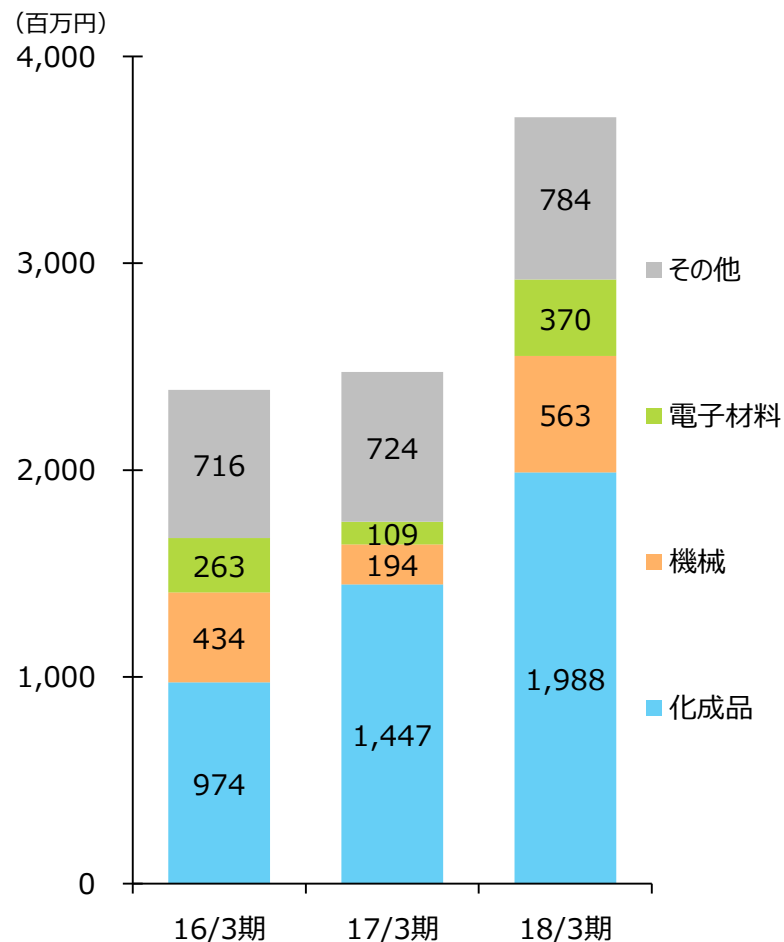


2018年3月期 セグメント別概要（利益）

セグメント利益の推移

(単位：百万円)

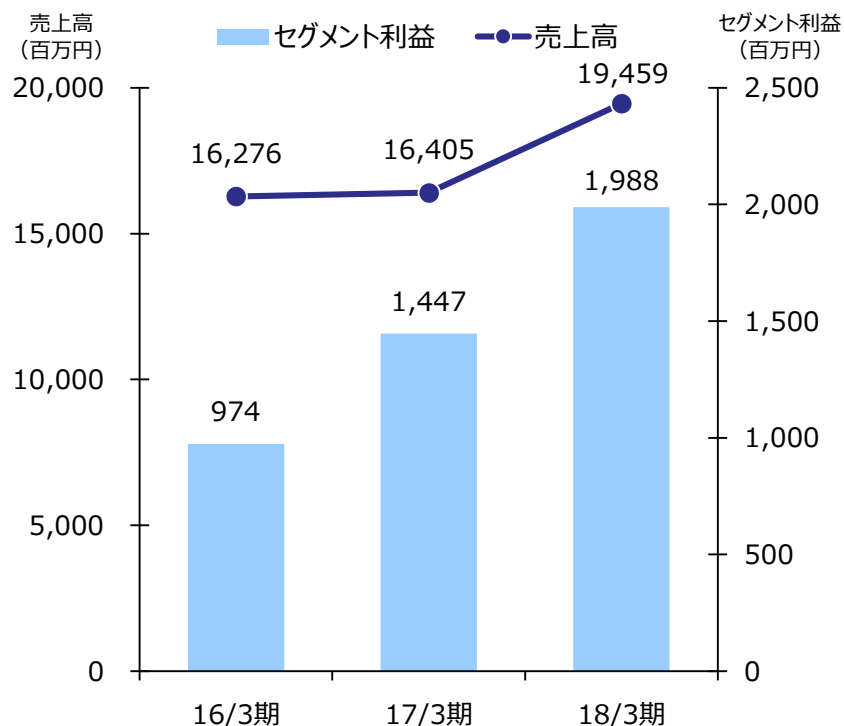
	2017/3期	2018/3期	増減	前年同期比
化成品	1,447	1,988	541	37.4%
機械	194	563	369	190.1%
電子材料	109	370	261	237.1%
その他	724	784	60	8.3%
(調整額)	△ 852	△ 864	△ 12	—
合計	1,622	2,842	1,220	75.2%



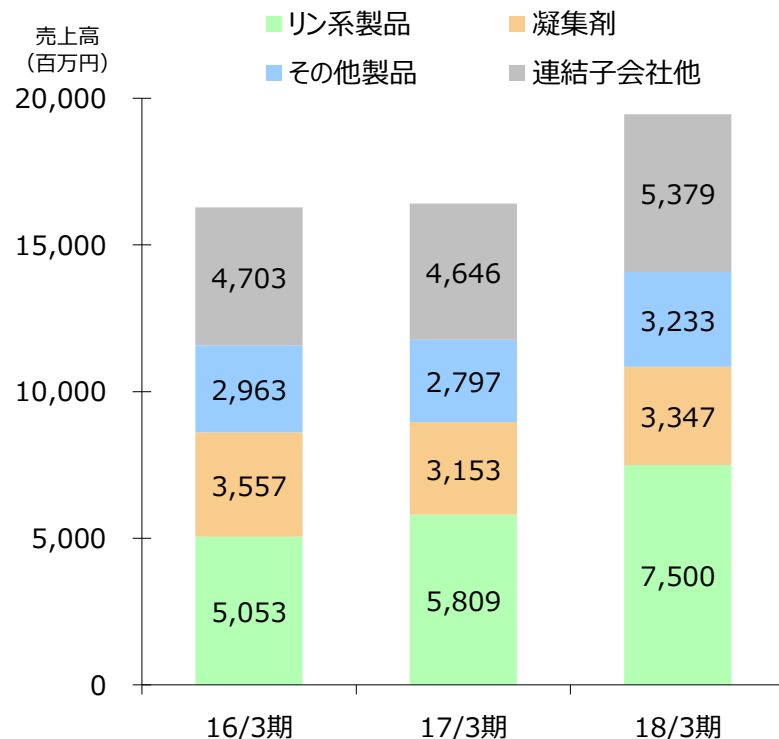
化成品事業

- リン系製品は、電子工業向け高純度品が大幅な増収。
- その他製品は、コンデンサー向け原料の増収が主因。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

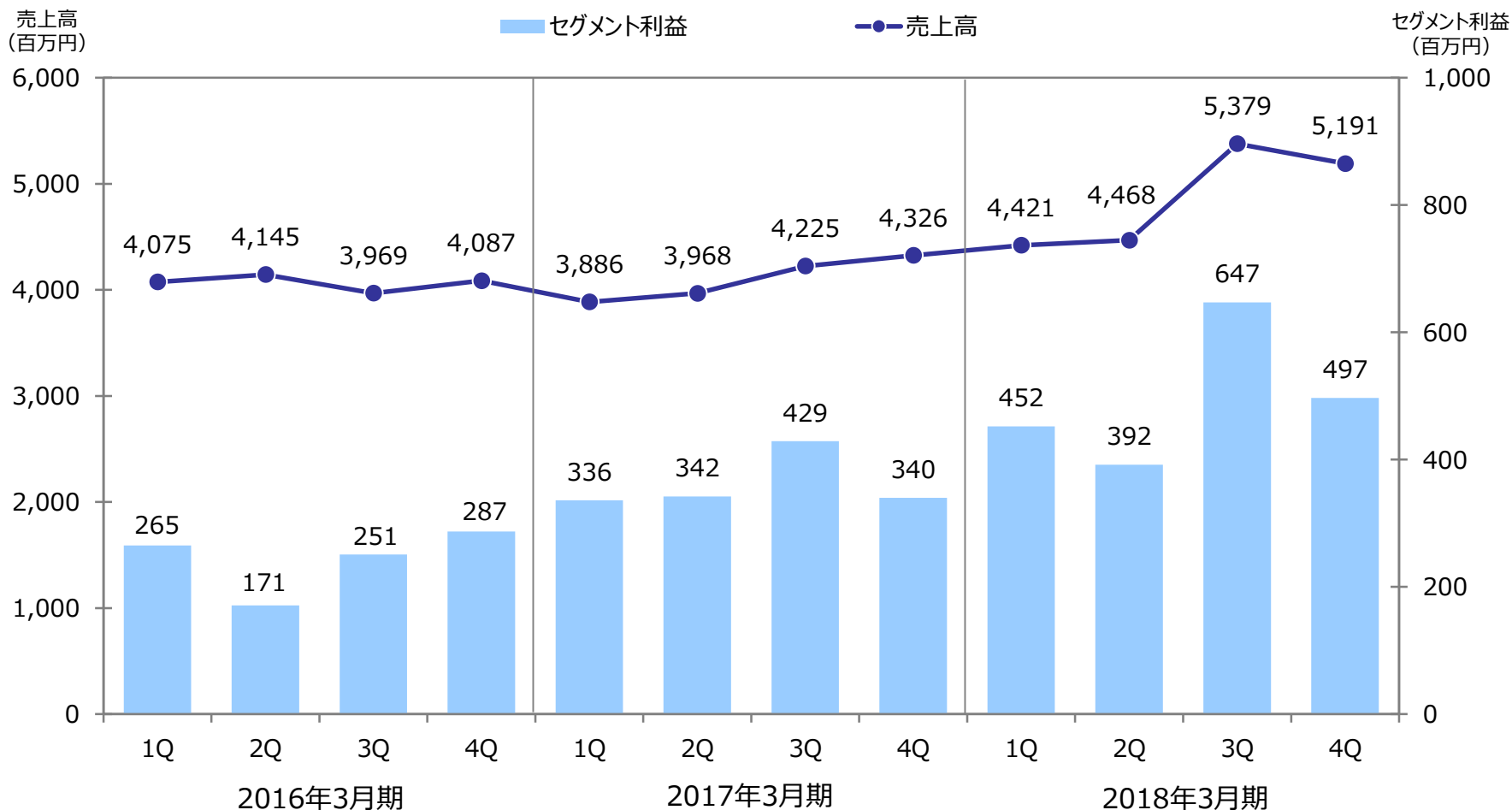


【化成品事業】 製品別売上高の推移



化成品事業（四半期業績）

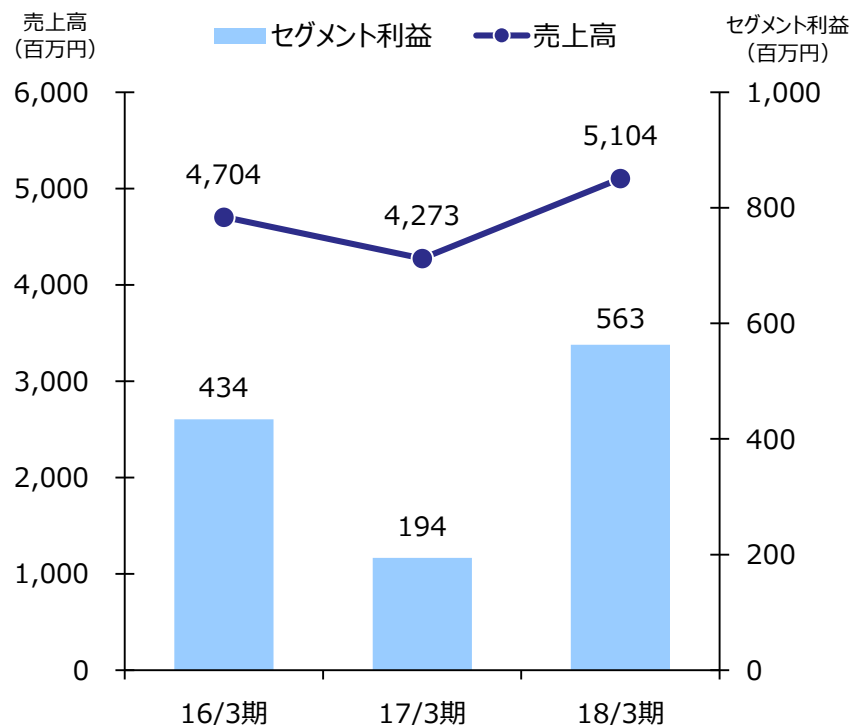
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



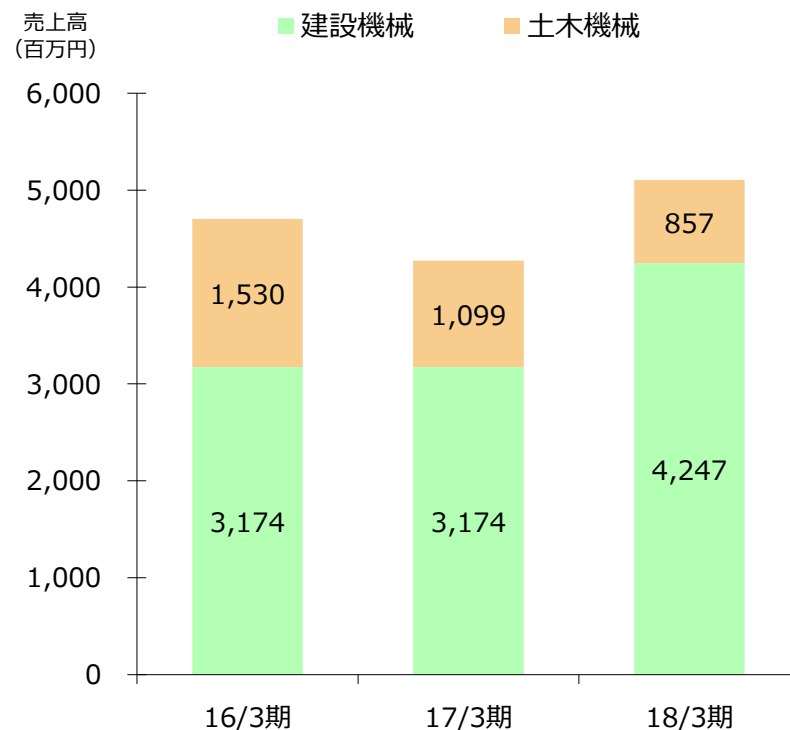
機械事業

- 建設機械は、プラント販売が大幅な増収、消耗部品が堅調に推移。
- 土木機械は、掘進機の海外向けが前期に引き続き低迷。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

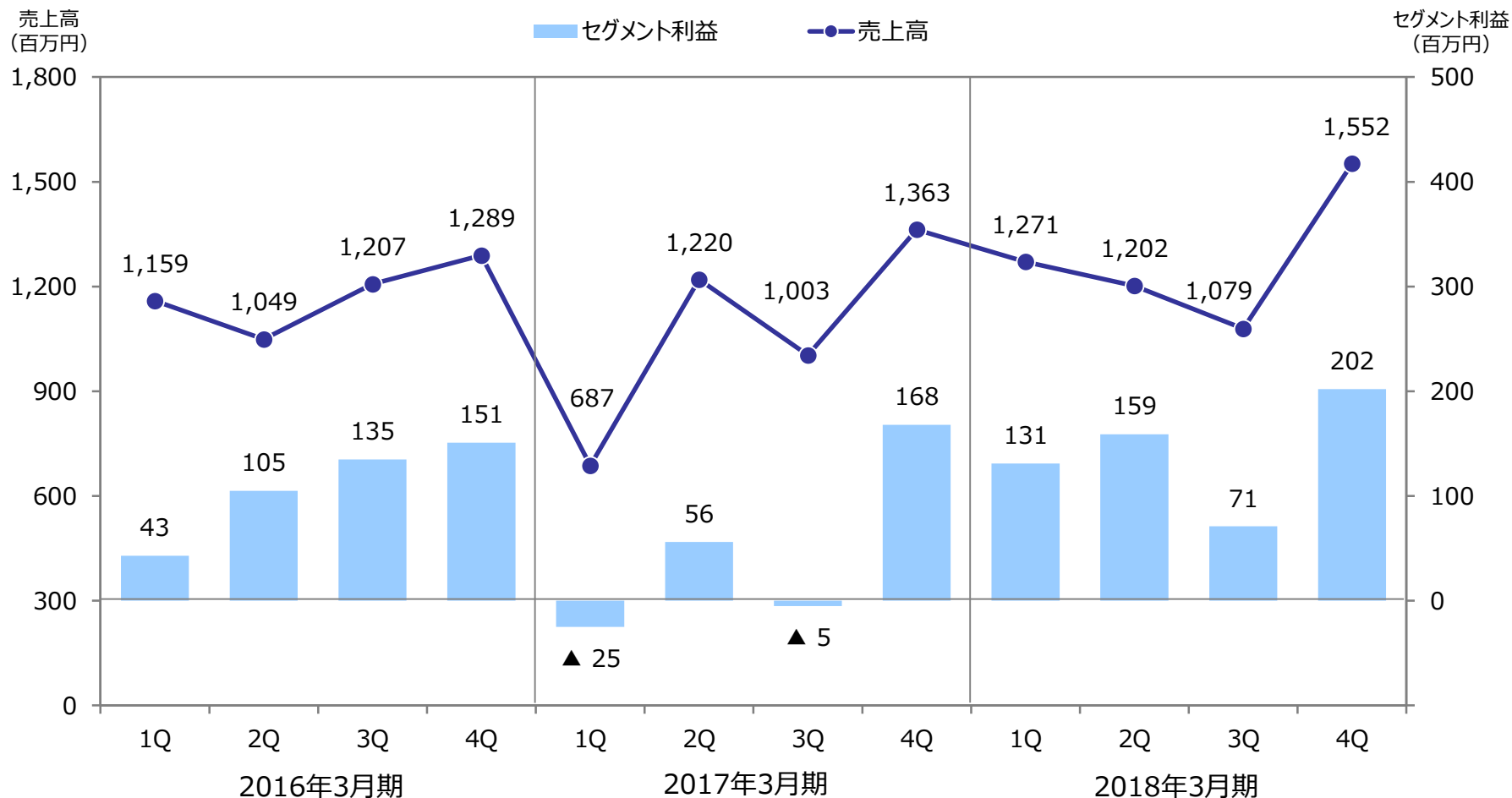


【機械事業】 製品別売上高の推移



機械事業（四半期業績）

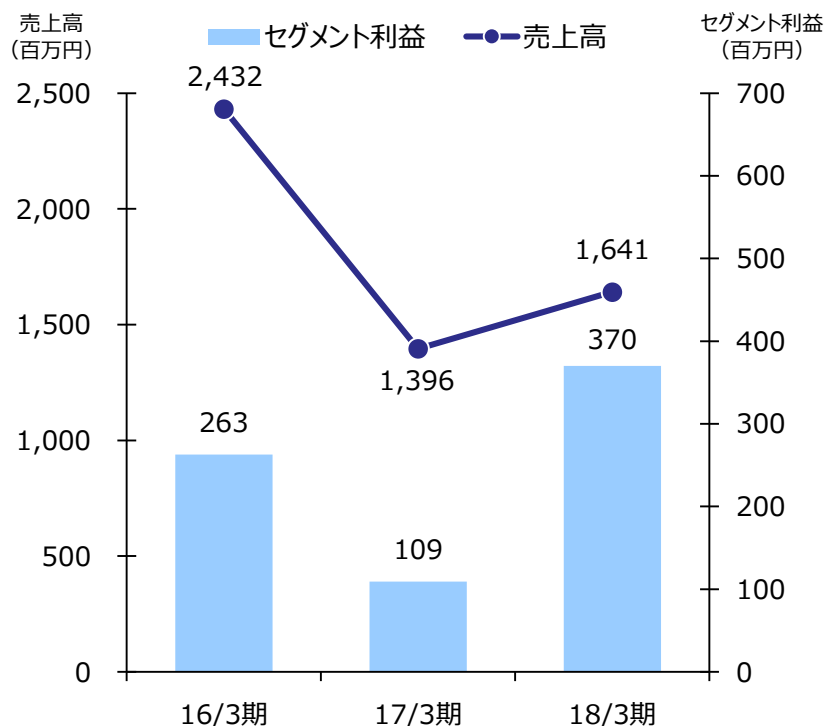
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



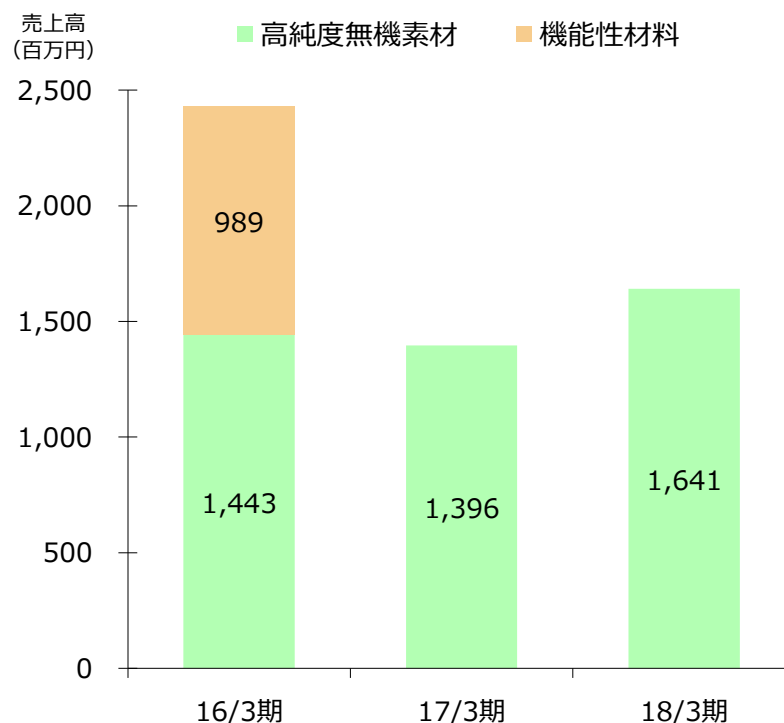
電子材料事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材は、販売数量増により大幅な増収。
- 資源価格の大幅な回復により、在庫評価の戻入益が発生。

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移

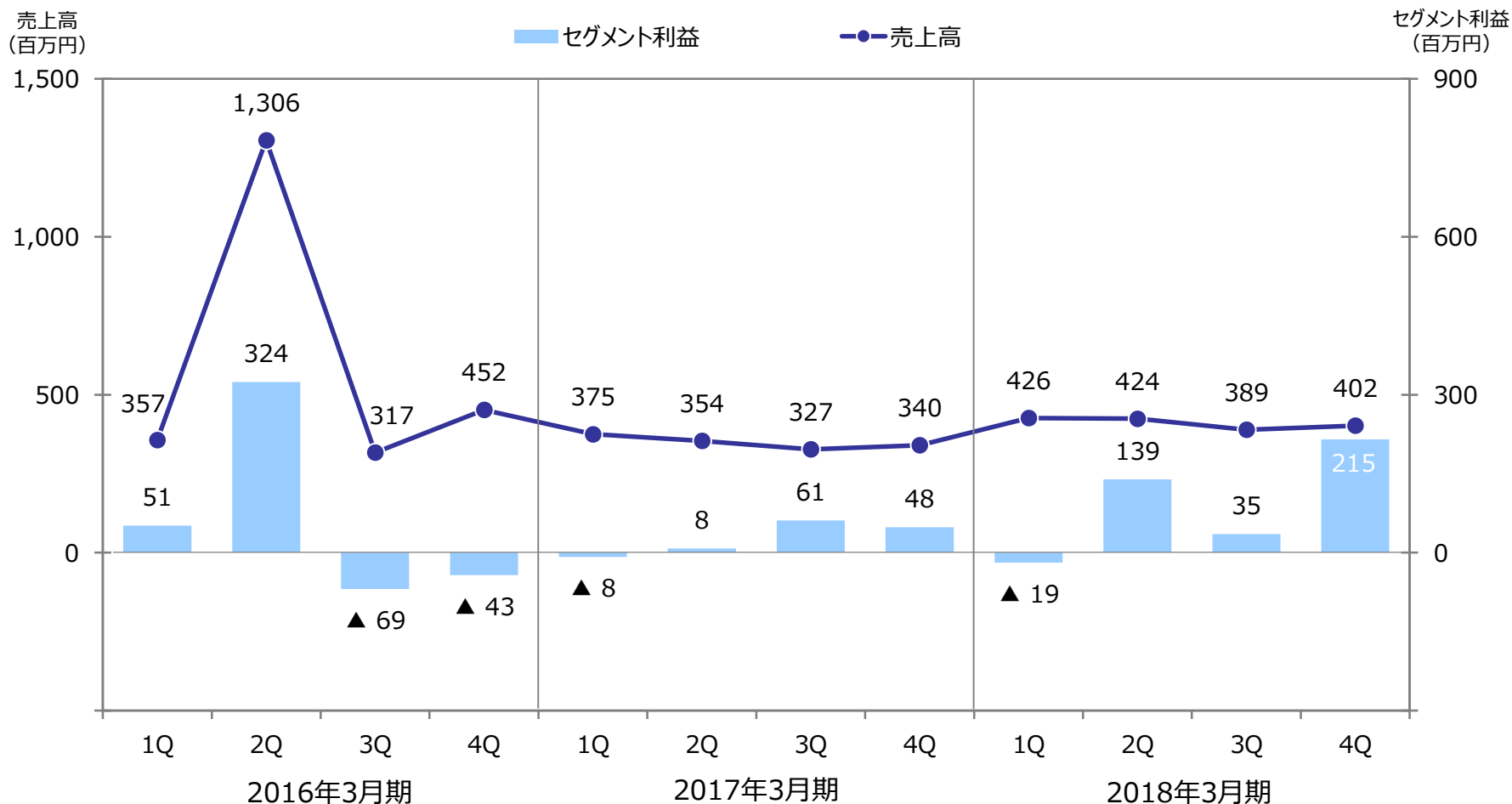


【電子材料事業】 製品別売上高の推移



電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2017/3期	2018/3期	増減	前年同期比
売上高	23,283	27,427	4,144	17.8%
売上原価	17,588	20,395	2,807	16.0%
販売費・一般管理費	4,072	4,189	117	2.9%
営業利益	1,622	2,842	1,220	75.2%
営業外収益	142	285	143	—
営業外費用	422	409	△ 13	—
経常利益	1,342	2,718	1,376	102.5%
特別利益	47	9	△ 38	—
特別損失	190	—	△ 190	—
税金等調整前当期純利益	1,199	2,727	1,528	127.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,726	2,251	525	30.4%

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2017/3月末	2018/3月末	増減
流動資産 計	14,433	17,724	3,291
現金及び預金	3,658	5,188	1,530
受取手形及び売掛金	7,028	8,248	1,220
たな卸資産 ※	3,344	3,591	247
固定資産 計	16,847	18,556	1,709
有形固定資産	12,929	14,583	1,654
無形固定資産	955	947	△ 8
投資その他の資産	2,962	3,025	63
流動負債 計	12,715	12,992	277
支払手形及び買掛金	3,416	4,240	824
短期借入金	6,613	5,410	△ 1,203
固定負債 計	7,785	10,281	2,496
長期借入金	4,267	6,813	2,546
退職給付に係る負債	2,885	2,936	51
純資産	10,780	13,007	2,227
自己資本	10,750	12,963	2,213
非支配株主持分	30	44	14
総資産	31,281	36,281	5,000
<自己資本比率>	34.4%	35.7%	

※ たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

	2017/3期	2018/3期	増減
営業キャッシュ・フロー	1,803	2,538	735
税金等調整前当期純利益	1,199	2,727	1,528
減価償却費	902	1,024	122
売上債権の増減額（△は増加）	△ 276	△ 1,178	△ 902
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 429	△ 212	217
仕入債務の増減額（△は減少）	△ 35	813	848
法人税等の支払額	△ 127	△ 219	△ 92
投資キャッシュ・フロー	△ 924	△ 2,120	△ 1,196
有形固定資産の取得による支出	△ 944	△ 2,140	△ 1,196
財務キャッシュ・フロー	135	1,074	939
借入金の純増減額	147	1,250	1,103
現金及び現金同等物 期中増減額	1,005	1,529	524
現金及び現金同等物 期末残高	3,658	5,188	1,530

2019/3期の業績予想

- 化成品事業は、半導体用高純度リン酸他の販売増加の予想も、償却費等のコストアップを見込む。
- 電子材料事業は、放射性ヨウ素吸着剤の販売を見込むも、高純度無機素材において前期あった在庫評価の戻入益を考慮し、増収減益。

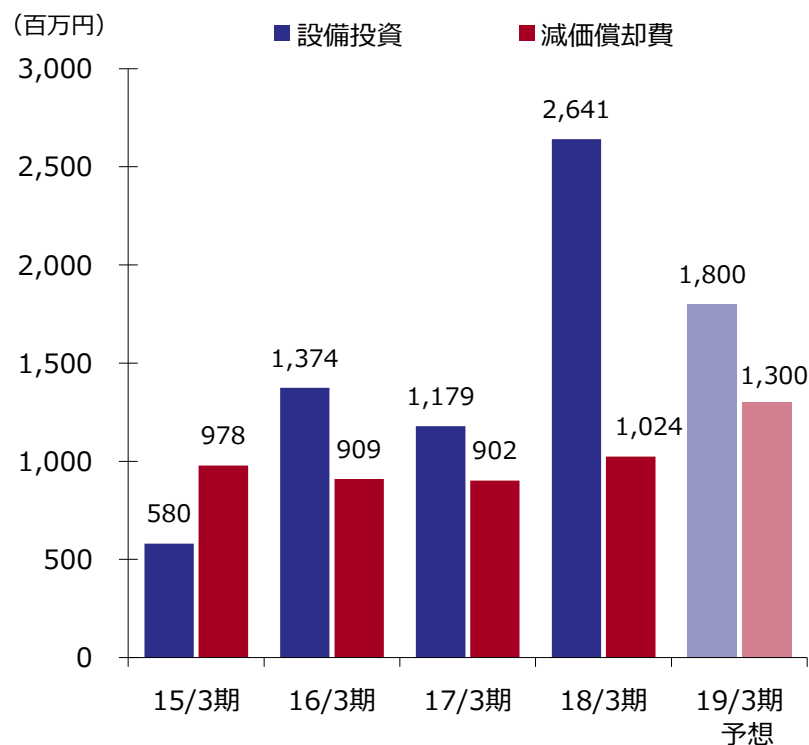
(単位：百万円)

	2018/3期	2019/3期予想	増減	前年同期比
売上高	27,427	32,000	4,573	17%
化成品事業	19,459	23,200	3,741	19%
機械事業	5,104	5,700	596	12%
電子材料事業	1,641	2,000	359	22%
その他	1,220	1,100	△ 120	△ 10%
営業利益	2,842	2,800	△ 42	△ 1%
化成品事業	1,988	2,100	112	6%
機械事業	563	600	37	7%
電子材料事業	370	300	△ 70	△ 19%
その他	784	700	△ 84	△ 11%
全社費用など	△ 864	△ 900	△ 36	—
経常利益	2,718	2,800	82	3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,251	2,300	49	2%
1株配当金	40.00円	40.00円	—	—

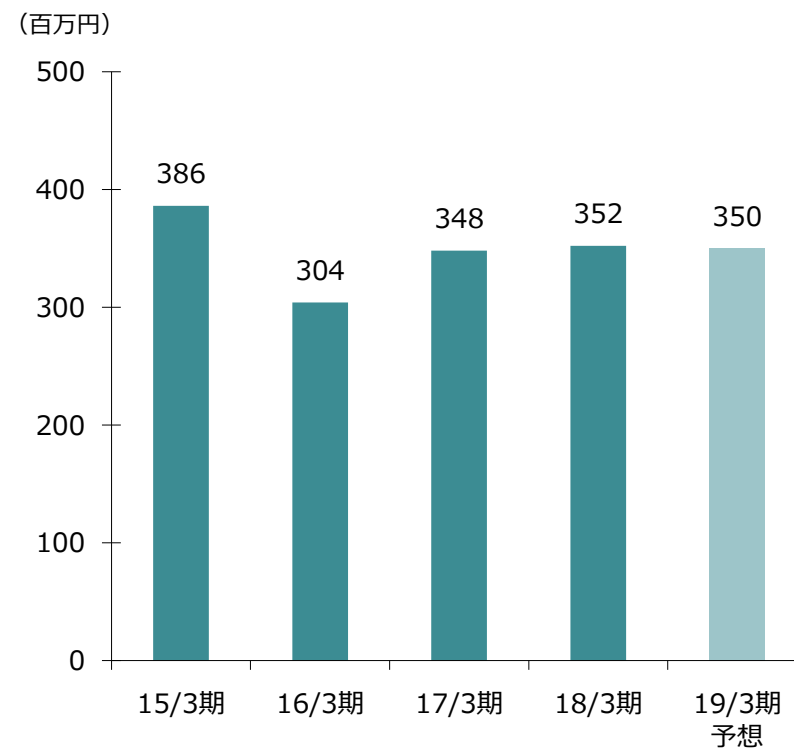
設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、主に化成品事業において、半導体用高純度リン酸設備の更新と増強を実施。
- 2019年3月期においても、化成品事業を中心に設備更新をすすめる。

設備投資・減価償却費



研究開発費



3. 新中期経営計画

前中期経営計画の総括

目標

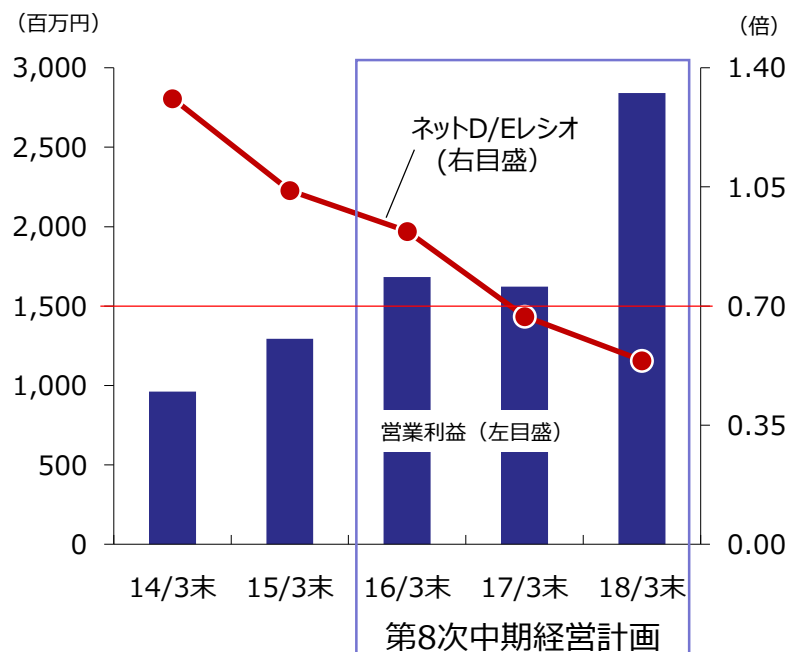
- 連結営業利益 **15億円**
- ネットD/Eレシオ **0.7倍以下**
- 安定的な配当体制の確立

残課題

- ✓ リン酸二次塩類の販売増
- ✓ 掘進機・粉体向け機械の販売強化
- ✓ 高純度無機素材の収益改善

最終年度実績

- 連結営業利益 **28億円** ◎
- ネットD/Eレシオ **0.54倍** ◎
- 1株当たり配当 **40円** ◎



中期経営計画2020（2018～2020年度）の概要

中期経営計画2020

～「事業基盤の更なる安定と強化」を目指す～

目 標

1. 連結営業利益 33億円
2. 連結自己資本比率 50%
3. 業績に応じた配当の継続

事業戦略

- ◆ 既存事業の強化・領域拡大
- ◆ グローバル市場への対応強化
- ◆ 新規事業の探索・育成

中期経営計画2020の事業戦略

全社方針

既存事業の
強化・領域拡大

グローバル市場への
対応強化

新規事業の
探索・育成

施策

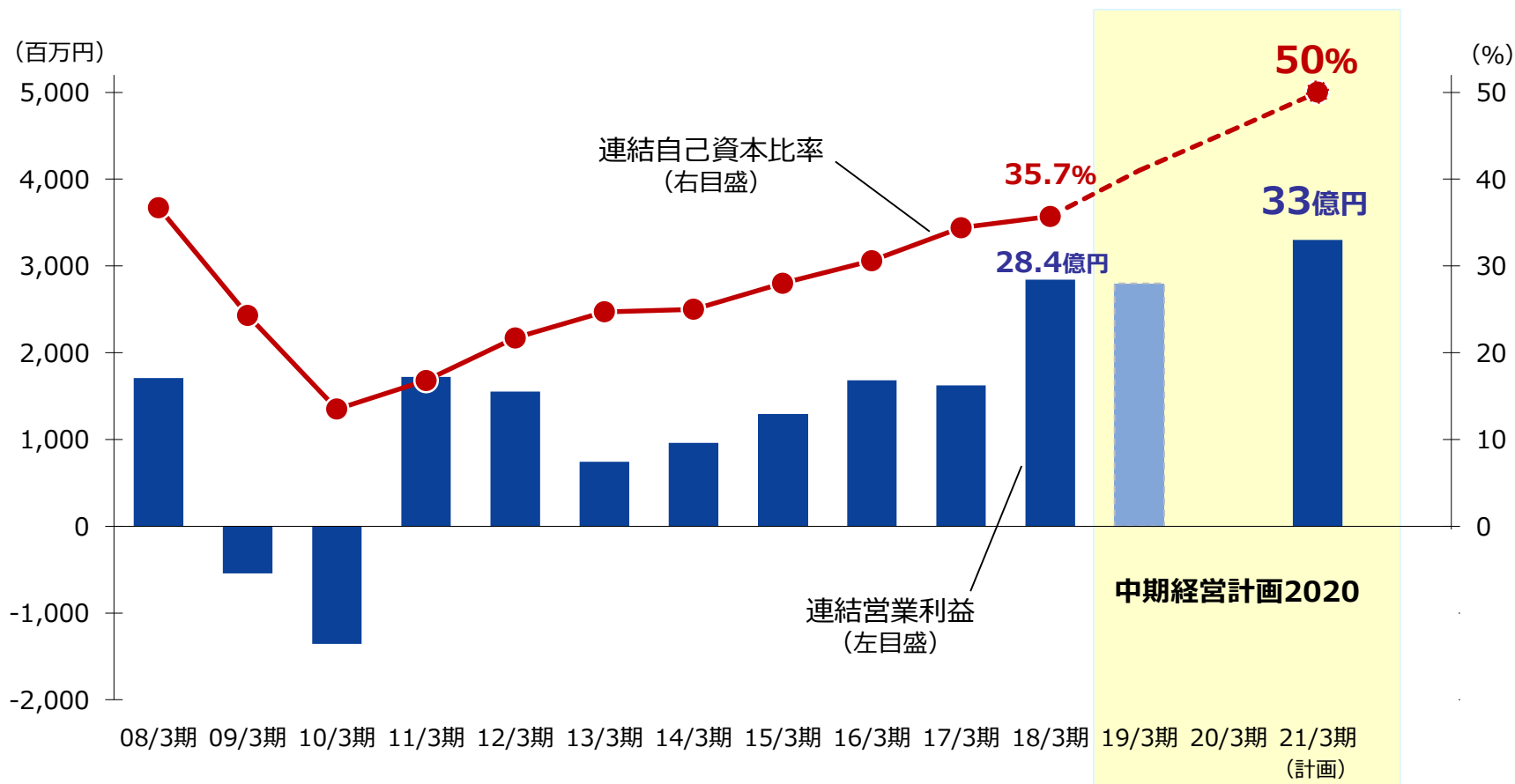
- ✓ 既存商品の拡販による収益向上
- ✓ 営業力強化とユーザーニーズの早期把握
- ✓ 設備維持保全・安定供給力の向上

- ✓ 販売・仕入ともにアジア市場への取組み強化
- ✓ 原料調達及びデリバリーの安定確保の強化

- ✓ 製品開発と営業の連携強化
- ✓ ユーザー拡大と高付加価値化

中期経営計画2020の数値目標

収益力の向上を図るとともに財務体質の一層の強化を目指す



重点施策①

化成品事業



<リン酸>



<消臭剤>



<台湾子会社>

■ 高純度リン酸他の拡販

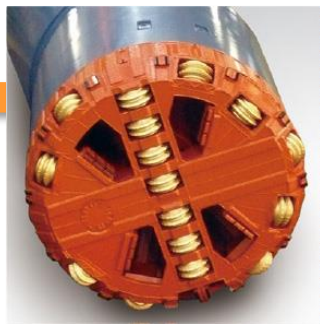
- ✓ IoT、AI、車載関係の国内外の需要拡大に対応し、品質向上、確実な供給体制の確立、拡販
- ✓ コンデンサー向け原料の需要拡大への対応強化

■ グローバル市場での体制強化

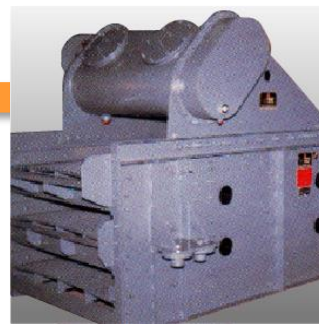
- ✓ 台湾子会社の設備更新および増強
- ✓ 韓国合弁会社との連携強化

重点施策②

機械事業



<掘進機>



<選別機>



<粉碎機>

■ 震災復興関連の取り組み

- ✓ 中間処理等のプラントの販売

■ 下水道向け掘進機の海外新規市場の開拓

- ✓ 東南アジア新興国（フィリピン・ベトナム等）の開拓および更新需要の取り組み

■ 粉体向け機械販売の強化

- ✓ バイオマス熱利用装置の新たな営業展開

重点施策③

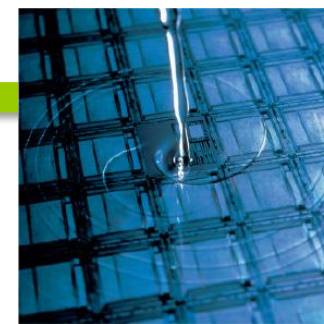
電子材料事業



<高純度無機素材>



<放射性ヨウ素吸着剤>



<塗布剤>

■ 高純度無機素材の収益改善

- ✓ 販売量増加、市況改善にともなう価格見直し

■ 放射性ヨウ素吸着剤（AgX）の営業強化

- ✓ 海外向けの販売実現
- ✓ 顧客ニーズに応じた製品開発

セグメント別基本戦略

既存事業の強化・領域拡大

グローバル市場の探索・育成

新規事業の探索・育成

化成品 事業

リ サイ クル 事 業

- ✓ IoT、AI、車載関係用途の需要拡大
- ✓ コンデンサー向け原料の拡販

- ✓ 高純度リン酸の需要拡大
- ✓ 海外関連会社との連携
- ✓ 消臭剤の需要リサーチ

- ✓ 消臭剤の拡販
- ✓ 新規開発製品の探索

機械 事業

- ✓ 震災関連事業
- ✓ 既存事業の維持

- ✓ 土木機械・粉体向けの
新規開拓

- ✓ バイオマス熱利用装置の
新たな営業展開

電子材料 事業

- ✓ 高純度無機素材の
収益改善

- ✓ 放射性ヨウ素吸着剤(AgX)
の海外向け販売実現

- ✓ 塗布剤の拡販
- ✓ 新規開発製品の探索

<セグメント別利益目標>

2018/3期 実績

2021/3期 目標

化成品事業

19.8億円

26億円

機械事業

5.6億円

6億円

電子材料

3.7億円

3億円

その他

7.8億円

7億円

全社

28.4億円

33億円

+5億円

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

－IRに関する問い合わせ窓口－
ラサ工業株式会社 経理部
03-3278-3892